

## 学習内容と到達目標

☞ 自分の家族について紹介できるようになる（どこに住んでいるか、仕事は何をしているかなど）。

前半：[1. INTRODUCTION] ～ [4. FOCUS]（短期的な運動の持続）

後半：[5. LISTENING] ～ [8. WRITING]（長期的な運動の持続）

## 指導のポイント

**1. INTRODUCTION** 第8課の復習。ステップ1での学習内容が定着しているか十分に確認した上で先に進む。①で文末を正しく過去時制にできなかったり、②で質問にすぐに答えられなかった時は、第8課の入念な復習が必要。

**2. SPEAKING** テ形はまだ学習していないので、（予習をしてきた学生以外は）「お茶を飲みます」「テレビを見ます」のように話すと予想されるが、学習者の気づきを促すための「前フリ」なので、それで構わない。

**3. LISTENING** ①では話の内容に注意を向けさせ、イラストの中の間違いを指摘させる。その後、②で「動作の進行」（短期的な運動の持続）の表現方法について学習。

**4. FOCUS** 14課と同様、質問に答えながらテ形の作り方を学習するようにしたが、五段動詞の変形規則は4種類もあるので、『書きます』、『ます』の前は何ですか などと質問し、学習者が規則を発見できるよう、意図的に注意を向けさせることが必要。

**5. LISTENING** ①では、職業を聞き取るだけでなく、山川さんのお兄さんがどこに住んでいるかや、紳一郎さんのレストランがどこにあるかなども聞き取らせる。また、②でスクリプトを読む時は、冒頭の「つまらないものですが」や「お言葉に甘えて」などは決まり文句として覚えさせる。また、「～なら」は文法（すなわち条件節）としてではなく、語彙として教えるにとどめる。

**6. FOCUS** 「勉強している」には「今図書館で勉強している」という短期的な運動の持続と、「息子は東京の大学で勉強している」という長期的な運動の持続という2つの意味があるが、ここは後者の練習。

**7. SPEAKING** 自己あるいは他者紹介でよく使う「長期的な運動の持続」を表す6つの表現を使わせる練習。

## 活動例

☞ [7. SPEAKING] と [8. WRITING] がこの課の主要な活動なので、この2つの活動にじっくりと時間をかければ十分だが、サザエさん一家やちびまる子ちゃん一家のような、誰もが知っているアニメやドラマの家族を題材にするのもおもしろい。